

令和 4 年
第 121 号
4 月 27 日 発行

ゆがゆが

議会だより

新 1 年生の入学だー！

主な内容

表紙：勝常小学校入学式

- ◆ 3 月定例会提出議案審議 …… P 2 ～ 5
- ◆ 一般質問（7 議員が村政を問う） …… P 6 ～ 12
- ◆ 老人クラブ連合会との意見交換会 …… P 13
- ◆ 議会の主な動き・編集後記 …… P 16

一般会計予算 可決！

26億2500万円でスタート！

3月 定例会

令和4年度 村の施政方針 6つのポイント

- ① 人口減少・少子化対策として
移住支援補助金や若者定住促進補助金等を活用した若者定住の推進
- ② 子育て世代包括支援センターを拠点とした子育て支援施策の更なる充実
- ③ 湯川村農業振興ビジョンのもと農業法人「会津湯川ファーム」を核とした持続可能な農業経営と新規就農、中小農家の経営支援
- ④ 「ふるさと納税」制度を活用し、「湯川米」のブランド化
- ⑤ 介護予防事業の普及・支援とコロナ対策の強化
- ⑥ 学校教育におけるICT環境を活用した授業体系の確立と社会教育の充実

3月定例会が3月8日から17日まで10日間の会期で開催されました。村長から提案された令和4年度各会計の当初予算をはじめ、補正予算や条例の改正、人事案件など、21件が審議され、全議案可決されました。

また、14日・15日の2日間行われた一般質問には、7名が登壇し三澤村政について問いました。

さらに、議員提出議案として「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議」「シルバー人材への支援を求める意見書」が提出され、いずれの議案も全会一致で可決されました。

重点事業 今年が目玉ピックアップ！

第五次湯川村振興計画基本目標に関連のある主な重点事業

I 安全・安心で誰もが快適に住めるむらづくり (主に総務課)

・市町村生活交通対策事業負担金	888万円
・生活交通対策事業負担金	513万円
・会津若松地方広域市町村圏整備組合負担金（消防）	9865万円
・消防補償等特別会計負担金	442万円
・消防小型動力ポンプ積載車購入事業	1377万円
・会津若松地方広域市町村圏整備組合負担金（清掃）	2209万円
・一般廃棄物ほか資源物等収集運搬委託料	825万円
・特定環境公共下水道事業繰出金	9532万円
・農業集落排水事業繰出金	4342万円



乗客が減少している生活交通の路線バス

Ⅱ いつでも健康で共に支え合える むらづくり（住民課）

・社会福祉協議会運営交付金	1500万円
・高校生冬期間通学支援金	158万円
・冬季生活支援事業扶助費	110万円
・敬老祝金	208万円
・高齢者タクシー利用料金助成事業	680万円
・出産・就学祝助成金	235万円
・新型コロナウイルスワクチン接種委託料	315万円
・インフルエンザ予防接種事業（高齢者）	378万円
・屈折検査機器購入事業	125万円



コロナの影響で開催が中止となっている敬老会



多くの来場者でにぎわう道の駅

Ⅲ 美しい田園風景と活力ある産業基盤の むらづくり（主に産業建設課）

・湯川村農家応援事業委託料（ふるさと納税）	2162万円
・「人の駅・川の駅・道の駅」指定管理委託料	1699万円
・道の駅地域振興施設外壁改修工事	184万円
・空家改修事業補助金	100万円
・頑張る若者応援新規就農者支援事業補助金	240万円
・新米祭・産業文化祭委託料	360万円
・地域担い手育成支援事業補助金	600万円
・中小農家経営継続支援事業補助金	1050万円
・湯川米生産意欲向上支援対策事業補助金	3895万円
・農業振興基金元金積立金（ふるさと納税）	2500万円
・多面的機能支払交付金（共同）補助金	4543万円
・地域水田農業特別奨励助成金	1582万円
・ふるさとおこし推進対策事業補助金	418万円
・鷲の瀬橋補修工事請負費	2530万円

Ⅳ 笑顔で学ぶ心豊かなむらづくり （教育委員会）

・保育所給食業務委託料	951万円
・小学校ボイラー室機械撤去工事請負費（両小学校分）	197万円
・湯川中屋根塗装工事設計委託料	96万円
・中体連等選手派遣費	416万円
・幼稚園副食調理業務委託料	912万円
・幼稚園園庭内遊具撤去・取付工事請負費	202万円
・文化財保護（勝常寺屋根修理）事業補助金	1024万円
・村体育館消火設備非常用電源新設等工事請負費	1100万円
・学校給食事業（会津坂下町委託負担金）	3640万円



完成した村営野球場防球ネット

Ⅴ お互いに心行き交うむらづくり（主に総務課）

・過疎地域自立促進基金積立事業	3500万円
・公共施設等整備基金元金積立金	3000万円
・相互人事交流職員負担金（県との交流人事）	585万円
・集落公民館空調機器設置等補助金	175万円



主な議案の内容

一般会計当初予算

令和4年度一般会計当初予算は、村民生活、社会経済・財政状況を職員がしっかりと認識し、令和3年度で過疎地域の指定から外れることを念頭に、

①限られた財源の中で職員自らが主体的に事業の優先度を考え、徹底した無駄の排除を行う、②施策と施策、事業と事業を互いに連携させ、その効果を更に高めていく必要があります。

このことを念頭に、歳入歳出予算総額2,625百万円と定め、前年度に比べ1500万円の増額とし、賛成多数で可決されました。

(株)会津湯川ファームへの負担 執行停止

令和4年度一般会計予算において、(株)会津湯川ファームへの運営負担金150万円の使途について質問が各議員からあり、村の回答としては「JAより派遣されていた職員が3年間という期限が終わるので、1年間の延長をお願いし再雇用目的で、応分の負担を村としても必要と判断し、人件費への補助として提案されたものである。

これに対して、「会社に対して人件費という目的で負担金を払うのはおかしい」という意見が出された。その結果、「この予算について凍結とし、会社側には自助努力で経営していただく」という答弁のもと、「予算の執行停止」という形にいたしました。

シルバー人材センターへの支援を求める意見書

可決

【議員提出議案第1号】

シルバー人材センターは、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進や医療費や介護費用の削減などに貢献しています。

令和5年10月に、消費税において、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入される予定となつて、新たに預かり消費税分を納税しなければならぬ、という問題が発生します。しかし、公益事業を行うセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税を負担する財源はありません。

よつて、国においては、センターの会員への配分金については、インボイス制度の適用除外とする等の措置を講じるよう強く要望します。

（全員賛成）

ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議

可決

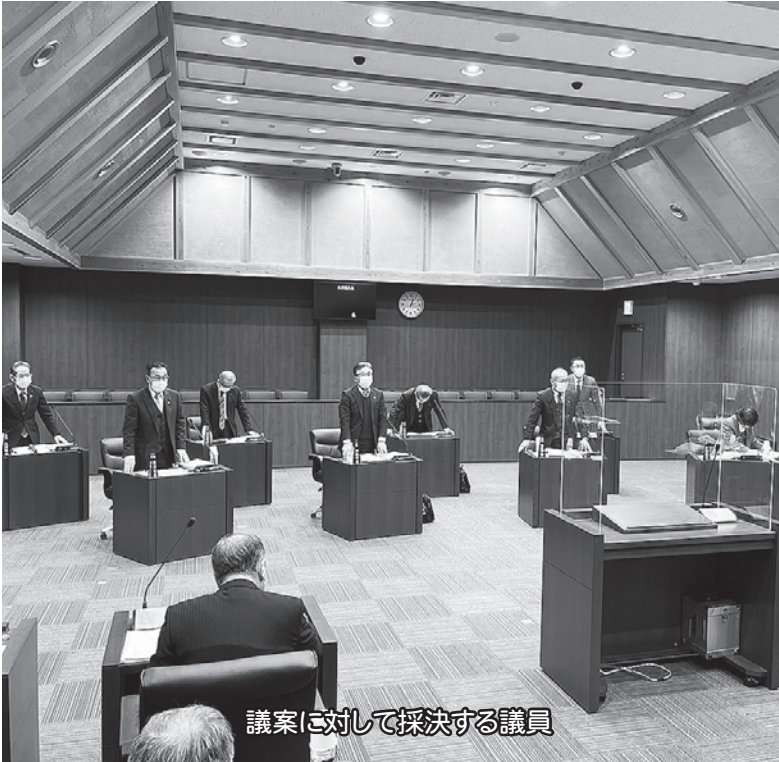
【議員提出議案第2号】

去る2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵攻し、隣国の主権と領土を武力で踏みにする暴挙に出た。これは国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、第2次世界大戦後の国際社会への無謀な挑戦である。また、核の使用をほのめかし、世界を恫喝するなど言語道断であり、断じて許すことができない。

よつて、本議会は、ロシアによる前代未聞の暴挙に断固抗議し、即時の攻撃停止と完全撤退を求めるとともに、日本政府においては、在留邦人の安全確保に全力を尽くしながら、国際社会と強く連携し、経済制裁措置を始めとする厳格な対応をとることを強く求める。

以上、決議する。

（全員賛成）



議案に対して採決する議員

第550回 1月臨時会における議員の賛否の公表

(湯川村議会基本条例第4条6項に基づき公表いたします。)

議案番号	件名	賛否	1 廣川文夫	2 伊藤幸喜	3 小沢甲市	4 片桐英子	5 三澤榮三	6 高倉好博	7 小野澄雄	8 篠竹正弘	9 斎藤賢一
72	令和3年度湯川村一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

第551回 3月定例会における議員の賛否の公表

議案番号	件名	賛否	1 廣川文夫	2 伊藤幸喜	3 小沢甲市	4 片桐英子	5 三澤榮三	6 高倉好博	7 小野澄雄	8 篠竹正弘	9 斎藤賢一
1	令和4年度湯川村一般会計予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
2	令和4年度湯川村国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
3	令和4年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
4	令和4年度湯川村農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
5	令和4年度湯川村介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
6	令和4年度湯川村後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
7	令和4年度湯川村墓地事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
8	令和3年度湯川村一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
9	令和3年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
10	令和3年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
11	令和3年度湯川村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
12	令和3年度湯川村介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
13	令和3年度湯川村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
14	湯川村職員定数条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
15	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
16	湯川村消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
17	湯川村土地開発基金条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
18	湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
19	令和3年度湯川村一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
20	令和3年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	議長
21	湯川村副村長の選任につき同意を求めることについて	同意	無記名投票の結果、賛成8票、反対0票								議長

議員提出 議案第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議員提出 議案第2号	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

*「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

村政を問う 一般質問

3月定例会

小沢 甲市
議員



補助金を活用し空家対策を充実

問

湯川村においては、一年以上上居住者がおらず管理者不在の家屋等が年々増加傾向にあり、現在までに約80戸程の空家があるが、今後どのような対策を講じていくのか？

答

現在の村空家対策事業について、令和2年度に空家・空地バンクを設置し、売買や賃貸を希望する所有者の方に登録していただいております。現在、売買希望で2件、賃貸希望で1件の登録がなされており、これまでの実績は、売買2件である。

また、住めない、住まない空家は空家解体事業補助金を、改修可能な空家は、売買又は賃貸後に住む方へ空家改修事業補助金を交付し、空家の減少に努めている。

問

国宝の仏像が存在する勝常寺を核として、村おこし事業のために活動している地区住民の参画に対し今後どのような支援を考えているのか？

答

勝常区で取り組まれている勝常区活性化対策委員会の「黒塀プロジェクト」事業は、令和元年度より本格的に事業をスタートした。勝常寺向かいの角屋や黒塀ではお盆や正月には本堂への参道に、子供たちが製作した竹灯籠をライトアップしている。

交流拠点施設となる「角屋」は、本年4月オープンで地元特産品の直売や参拝者の憩いの場、イベント開催のほか、区民の新たなコミュニケーションの中心施設として活用していくとしている。

村としては、引続き様々な形で事業を支援し、この事業を成功例として、村全体の賑わい、地域の活性化につなげてまいりたい。



3月27日にお披露目された「角屋」

問

東日本大震災が発生して11年が経とうとしている。最近では全国各地で地震や風水害が頻発して甚大な災害が起きている。湯川村においては、大きな災害等はないが、万が一を想定して村民の命と財産を守るための備えは必要と思うが当局の考えは？

答

まず、平時から、危険エリアや避難場所をまとめた「防災マップ」を平成30年に全戸配付し、

防災対策に役立てていただいている。

また、令和2年度に防災行政無線を整備したほか、登録制メールや緊急速報メール、公式ホームページといった多様な情報伝達手段を確保しており、有事の際に避難情報や警報などの災害情報を迅速にお知らせする体制を整えている。

災害発生時には、避難所の環境を良好に保つため約150人分の屋内用テントやマット、消毒用アルコールやマスクなどの感染症対策のための物品を備蓄し、約750食分の食糧備蓄を確保しており、今後も、「自助」「共助」「公助」が連携した総合的な防災体制を構築していく。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う

一般質問

3月定例会



廣川 文夫
議員

種もみ、肥料、機械 購入経費を支援

問 米価下落に伴い農家所得が減少し農家経営を圧迫、再生産意欲が低下している現状である。村長は農家の再生産に対し多方面での追加支援をどう考えているのか？

答 村地域農業再生協議会では、新規事業として、農家に対する生産意欲向上支援として、種もみ及び肥料購入に係る助成を行う「湯川米生産意欲向上支援対策事業」や、セーフティネットである収入保険への加入促進を目的とした「農業者収入保険加入推進事業」、湯川村内の多くを占める中小農家への農業機械購入支援として「中小農家経営継続支援事業」等を予算計上し、助成したいと考えている。

問 湯川ファームの今後の計画について、令和4年度の施設整備計画及び人事体制について伺う。

答 「湯川村農業振興施設」については、村が事業実施主体として整備することで現在計画を進

めており、建物の整備は、株式会社湯川の基金を活用する是非を、湯川ファームやJAと協議を進めたいと考えている。整備箇所については村所有地での整備を計画し、令和4年度中に基本設計等を行い、翌令和5年度に整備を行いたい。



JA西側にある会津湯川ファームの仮設事務所

社会教育係を課へ格上げ 公民館長兼務へ

問 公民館長をどのような形で設置し、社会教育を充実させていくのか？

答 公民館長については、これまでの社会教育係の組織を社会教育課へ格上げした上で、社会教育課長が兼務する形を予定しており、公の施設の在り方を検討するプロジェクトリーダーの役割を公民館長に併せて持たせたいと考えている。

また、公民館とユースピアゆがわの事務室の一本化により社会教育をより充実させていきたいと考えている。

問 地域と学校の連携の「ため」が「おらが村の応援隊」が設置されているが、今後、更なる活用を充実させるために、どんな手立てを講じるか伺う。

答 「おらが村の応援隊」は、両小学校で、スポーツ吹き矢、押し花、調理実習、パソコン教室など、湯川中学校では、社会

科授業の講師として活用されたが、事業の更なる充実を図るため、広報誌やホームページなどで周知していきたい。

問 両小学校も40年以上経過し老朽化している。今後の小学校の未来像は、統合も含めて様々な観点から検討を進めていかねばならないと思うが、どんな検討がなされているか？

答 厳しい財政状況が続き、令和3年3月に「公共施設等総合管理計画」改訂したが、今後はこの計画をもとに、長期的な視点をもつて、小学校のみならず、公共施設の適正な更新・統廃合・長寿命化・大規模改修に向けた取り組みを所管する教育委員会と協議してまいりたい。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う 一般質問

3月定例会

伊藤 幸喜
議員



未婚者対策の充実を 求む！

問 集落が元気になるには、後継者対策が何よりも重要である。本村では空き家の報告が73件あるが、一つの要因として未婚者が増え、後継者不足、少子化が進んでいることが考えられる。本村は未婚者対策に後れを取っていると思われるが今後の対策について伺う。

答 村での未婚者対策として湯川村ふるさととおこし協議会による婚活支援事業を実施し、実績として結婚までは至っていない。今後の婚活支援事業については、「ふくしま結婚・子育て応援センター」にアドバイスを仰ぐなど事業内容の一層の充実を図り、婚活事業の充実を図りたい。

問

村内の空き家の管理と利活用について伺う。

答 村での空き家利活用については、堂畑集落と浜崎集落のそれぞれ1件を、村農業体験・民泊施設、移住体験施設として地域おこし協力隊の住居等に活用しており、今後、他町村等の先進事例も参考としながら、様々な対策について調査研究していきたい。

【提案】

空き家の利活用は湯川ファーム等の事務所設置が望ましい

タブレットにより学習の効率化増大

問 児童生徒タブレット導入後の問題点について、GIGAスクール構想に基づき小中学校の児童生徒にタブレットが配布され、ICT環境が整備されたが、導入後のメリット・デメリットについて伺う。

答 まず、ICT環境の導入のメリットとしては、「学習の効率化」

【教育長答弁】

まず、ICT環境の導入のメリットとしては、「学習の効率化」

があげられる。大型モニターを活用し画像や動画などで視覚的、聴覚的に伝えることで、児童・生徒が楽しみながら効率的な学習をする手助けとなる。また、新型コロナウイルスで学校休業となった場合でも、「学びの保障」が確保できるようになる他、教師の業務負担軽減が図られる。デメリットとして、導入コストや維持費の問題、先生の負担増になるケースも考えられる。

問

堂後遺跡の調査、発掘の成果と今後の出土品の扱いについて伺う。

答

発掘調査の成果として、次の3つが挙げられる。

①約1800年前のコマ作りの痕跡を示す土器が見つかり、「米どころ」湯川村のルーツとなる集落が勝常寺の周辺にも存在していた。

②1200年前の寺院の区画施設と想定される、大型の特殊建物跡と建物跡に

並行する溝跡が発見され掘立柱建物跡や建物の基礎部分も発見された。

③約700～800年前の、鎌倉時代～室町時代初期の区画施設や建物跡が発見され、会津産の陶器や土器、中国産の青磁や白磁が出土している。

発掘調査の出土品は、毎年開催する現地説明会の中に展示しているが、常設の展示施設も今後検討していきたい。



発掘された柱穴列



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う

一般質問

3月定例会

片桐 英子
議員

問

米価下落対応として種もみ・肥料への補助以外に主食用米への支援について伺う。

また、令和3年度の転作面積は44haあるようだが、水田活用直接支払交付金の見直しが挙げられている。それに関してその対策について伺う。

さらに、有機栽培への補助が厚いように感じるし、販売価格も高額になるのではと期待している。村として推奨する考えはないか伺う。

答

今回の令和4年度の当初予算案の中で、種もみ、肥料購入、収入保険加入促進、中小農家への農業機械購入支援を計上した。次に、水田活用支払交付金の見直しについて、今後5年間に一度も水張りが行われない農地は交付対象水田から除外する方針を示している。

有機栽培への補助の拡充について、国の「みどりの食料システム戦略」の中で、有機農業の取組面積を25%、100万haに拡大するとい

う目標があり、村においても、今後の支援策や推進方法について検討していきたい。

管理栄養士は会計年度任用職員で対応

問

再三募集しても、会計年度任用職員として管理栄養士の応募は無いようだ。正規職員として採用し、村民の食生活への支援が求められるが、採用の有無について伺う。

答

令和2年度から、保育所給食業務を民間に委託して以降、業務内容や業務量を精査した結果、会計年度任用職員で対応が可能であると考えており、新年度も正規職員の採用は考えていない。

問

人生100年時代聞こえの確保は社会性を持ち続け自立した生活にも必要である。「聴力検査」を総合健診に組み込むのが困難な場合は、単独または抱き合わせでの住民健診が実施できないか伺う。

答

40歳〜70歳までの社保又は国保加入者を対象とした人間ドック健診や、後期高齢者医療費受給者で、76歳を対象とした人間ドック健診では、聴力検査を実施している。



インボイス制度の円滑運用

問

2023年10月施行のインボイス制度は農協経由の出荷には影響なくても、1千万円以下売上の自主出荷米や野菜農家、商工業者等への消費税課税

がなされるようだが、本村業者への影響について伺う。

答

農業における影響について、大きく影響が出てくるのは、農協以外の米集荷業者や直接取引する飲食店への販売をされる農家の方となる。買い手側が本則課税事業者の場合で、適格請求書が発行できない農家の方は、取引上不利になる場合が想定され、また、村内農家の方から農産物を集荷している、道の駅あいづや会津湯川の里等においても、出荷農家との調整等が必要となってくる。村では、インボイス制度が正式に開始されるまでの間、関係する農家及び商工業者の方が、円滑に制度運用が出来るよう努めて参りたい。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う 一般質問

3月定例会

篠竹 正弘
議員

**問**

冬季間、村内を通る県道の道路状況について、県道331号線、熊の目・浜崎線で特に中台から下扇田間の防雪棚の切れ目から出来る吹き溜まり解消の対策が必要ではないか、考えを伺う。

答

今年の冬は、特に1月については、例年になく地吹雪が発生し吹き溜りの箇所が多数発生した。村では、今年度の地吹雪時の県道状況を、動画撮影も行い県に伝えており、改善策の検討を要望したところであり、次年度の冬季間の地域内道路における通行安全対策の改善となるよう協議を重ねていく考えである。

除雪オペレーター育成 支援事業導入を検討

問

会津地方の各自治体でも事業化されている「除雪オペレーター育成支援事業」を本村としても必要と思うがどうか。

答

除雪オペレーター育成支援事業については、県では、県建設工事等請負有資格業者に登録されている企業へ、満55歳以下で、新たに大型自動車免許、大型特殊自動車免許を取得する方を対象に、1名につき資格取得費用の2分の1、最大10万円補助する制度を行っており、オペレーターは、県道の除雪を3年以上続けることが必要条件となっている。

村の除雪作業については、除雪オペレーター8名体制で実施しているが、オペレーターの人材確保が今後の課題ととらえており、除雪オペレーター育成支援事業の実施については村として検討していきたい。

問

2022年5月13日から一定の違反履歴のある75歳以上の高齢ドライバーを対象に運転免許の更新時に、実際に車を運転して能力を確認する「運転技能検査」が義務化され、合格できなければ運転免許資格を失う内容である。そ

こで、以下を伺う。

(1)生活支援の例として、「JAふれあい食材」宅配事業があるが、生活支援を拡充する施策を本村でも協議・検討する必要があると考えるがどうか。

答

JAのみならず、生協や一部のコンビニ業者によって実施されており、村が主体となつての宅配事業の考えはなく、業者等をご利用いただきたい。



JAの宅配センター

答

村でも、高齢者等充実については重要課題であると認識しており、今後、路線バスの必要性を考慮しながら、村コミュニティバスの活用によるデマンドバスや、その他の交通手段により高齢者等の交通弱者対策について検討していきたい。

デマンドバスについて 今後検討

問

(2)社会福祉協議会における「今後の高齢者等の交通手段確保・充



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う

一般質問

3月定例会

高倉 好博
議員

問

村内には、公園や住宅用地などに設置されている防犯灯、村道などに設置されている街路灯は何灯あるのか。また、蛍光灯タイプとLED灯タイプはそれぞれ何灯あるか伺う。

答

現在、村内には620本の防犯灯及び街路灯が設置しており、蛍光灯タイプが435本、LED灯タイプが185本ある。

問

蛍光灯タイプとLEDタイプそれぞれ分けて計算した契約をしているのか、それとも一括で計算した契約になっているのか、また、年間の電気料金はいくらか伺う。

答

街路灯1本ずつの契約となり、令和3年1月から令和3年12月までの年間電気料金は267万円である。

問

村政の情報発信不足について、毎年行っていた村政座談会は、コロナウィルスの感染防止のため過去2年間開催されていないが、村民への情報発信は不足しているのではないか？

答

村政座談会資料を全世帯に配布し、年間の重点事業の内容などを発信した。また、令和3年4月から防災行政無線の使用が始まり、この新たな媒体をもとに不足分の情報を適宜補っており、区長会も2度開催し、都度村からの情報を提供させていただいた。



行政区長を通じて住民要望を聴取

問

村政座談会開催時に、必ず住民の要望事項聞き取りを行っていたと思うが、この2年間は行っていない。どのような対応策を考えているのか伺う。

答

住民の要望は、基本的に、区長を通して要望書を提出していただいおり、その回答も区長を通して文書にて回答している。

問

行政機構の改善は必要になるときもあると思うが、それを実行する場合は、関連する所要の整備も必要になってくるのではないか。そこで村長は行政機構の改善の考えなどはあるか伺う。

答

行政機構を見直す主な理由としては、(1)財政状況が厳しく、行政組織の効率化を図る必要がある場合(2)住民サービスの向上のため、行政組織の効率化を図る必要がある

場合)がある。

湯川村行政機構改善委員会からの答申を参考に、社会教育充実の観点から令和4年度から社会教育課を設置する方向であり、その他の課題については、令和4年度に再度検討していく。

問

副課長について、令和3年度から住民課長の補佐する職としてのポストを設けたとの説明だった。そもそも副課長の職の根拠となるものは何か伺う。

答

職員の職の格付に「課長相当職」として格付されているところであり、給料の特別調整額の対象職(管理職手当)に該当している。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

村政を問う 一般質問

3月定例会

小野 澄雄
議員



地域に活力をもたらす重点施策について

(ア) 所得向上対策について伺う。

問

米価下落、化学肥
料、燃料の高騰等、
農業を取り巻く現状は、今
までにない厳しい状況です。
所得落込みを回復するため
の施策は？

答

即効性のある所得
向上対策については
限りがあるため、ある程度
時間をかけながら、今の状
況を徐々に脱却して行くこ
とが重要であり、具体的
には、需給調整の取組みを
着実に進め米価の回復を図
り、それと並行して販路拡大
策等も含め、生産・販売・
流通等全体に渡り安定した
対策、支援ができるよう努
めていきたい。

【提案】

国の施策に於いて、地球
温暖化対策として、環境に
配慮した栽培転換に対する
支援等が検討されています。
今後、消費者の消費行動に
も変化する可能性があります。
所得向上対策において
も、他産地に先駆けして
“農業の負荷低減事業”を
実施すべきと考えます。

(イ) ふるさと納税の拡充
に向けて伺う。

問

「ふるさと納税」
が増えることは、自
治体の魅力が伝わり、交流
人口の増大や地域の活性化
に繋がります。拡大に向け
て伺う。

答

来年度のふるさと
応援寄附金事業につ
いて、ポータルサイトを新
たに2か所増やし、新規寄
附者を獲得すべくPRを行
っていききたい。

企業版ふるさと納税の提言

企業より共感を得られる
地域再生計画を創ることが
大切である。企業では、地
球温暖化防止に貢献する数
値目標を掲げております。
「農業負荷低減事業」を企
業版「ふるさと納税」に据
えるべきと考えます。
トップセールスが何より
大切である。

問

学校現場における
ICT環境を整えた
新しい授業体系について

(ア) 教科担任制への取組
みについて伺う。

【教育長答弁】

答

小学校教科担任制
とは、学級担任以外
の教員が、教科等を専科指
導する制度のことで、国や
福島県では、令和4年度を
目途に、小学校教科担任制
を本格的に導入する方針で
ある。

現在、湯川村の両小学校
においては、教科担任制を
行う教員は配置されていな
いが、学級担任以外の教頭、
教務主任が専門性を生かし
て授業を行う「分科指導」
を取り入れている。

(イ) 教科書のデジタル対
応について伺う。

答

児童生徒のタブレ
ットを使ったデジタ
ル教科書については、国の
「学習者用デジタル教科書
普及促進事業」を活用して、
本年度は、笈川・勝常両小
学校の1年生から6年生ま
での算数のデジタル教科書
を、来年度は、小学校5・
6年生及び中学校1年から
3年生の「英語」と「国語」
のデジタル教科書が無償で
導入し、試行的に活用する
予定である。

け、村としても検討してま
いりたい。



問

インボイス制度が
農業に及ぼす影響に
ついて伺う。

答

インボイス制度の
概要は、令和5年10
月1日からは、仕入税額控
除を行うのに適格請求書
(インボイス)等の保存が
要件となるということであ
る。
村としても制度が正式に
開始されるまでの間、制度
周知及び関係団体との調整
等を行い、円滑に制度運用
が出来るよう努めて参りた
い。



上記QRから動画で
ご覧になれます。

老人クラブ連合会との 意見交換会 1月21日

広報広聴委員長

篠竹正弘

議会では、村老人クラブ連合会からのご依頼により「高齢者福祉向上・生きがいづくり及び議会との協働活動」について意見交換をしました。老人クラブの櫻井会長によれば、老人クラブと議会の意見交換が行われているのは本村だけということで、協働の村づくりの大切さや日頃から村に対して思っていることなど、いろいろな角度から要望や提言をいただきました。

老人クラブからの主な ご意見

- ・様々な活動へ「参加すること」も協働である
- ・介護予防事業への男性の参加者が少ない
- ・活動により健康寿命を延ばすことができる
- ・昔ながらの農機具等を展示する施設があればいい
- ・健康のため防災行政無線

でラジオ体操を流せないか

議会からの主な意見

- ・祖父母との付き合いは子供の成長には非常に大切である
- ・田植え体験など日本の伝統行事を教えることは大切である
- ・自助・共助・公助の考え方が今後は大切である

取り交わした意見等は、早速議会で取りまとめ、今後の議会運営、村政全般の課題としたいと思います。



役員と様々な意見を交わす

総務文教常任委員会 所管事務調査報告 2月14日

社会教育事業について

総務文教常任委員長
三澤 榮三

委員会では、村の生涯学習と社会教育事業について、村政の進展に寄与する目的として、職員や社会教育指導員等から説明を受け、意見交換を行いました。

この社会教育事業は「健康づくり、仲間づくり、生涯づくり、絆づくり」をキーワードとして、村民主体の学習環境が整備され、指導者育成にも力を入れております。

新たな事業として、シニア・マナビスゆがわ、ゆがわ物づくりの塾、会津三十三観音を学ぶ大人の社会見学等があり、コロナ感染防止対策を万全にして実施され、村民からも好評だったとのことであります。

また、ユースピアゆがわの図書利用について、「10月に県立図書館より幼児か

ら大人向けの本350冊が入った」「今年の1月には新刊137冊が入った」とのこと、多くの方に利用していただきたいとのことでした。

「事業計画するも参加者が少ない」「参加者が固定化されている」など、様々な課題もあるとの話もあり、今後はさらに幅広く参加者を募ることを望むものであります。

いただいた意見等は、議会としてもしっかりと政策提言をしていきたいと思いました。

経済常任委員会所管 事務調査 2月25日

経済常任委員長

小沢 甲市

湯川村内においては、人口減少や高齢化により独居世帯等が増加傾向にあります。それに伴って既存住宅の老朽化が進み空家等が増える現状です。現在の空家は約80戸程あるようで驚きました。そこで2月25日に経済常任委員会の皆さんで

村内の空き家になっている集落の現地調査を実施してきました。

今年は例年になく大雪のため、被害にあっていた空き家が見受けられました。

管理者不在の空き家は風雨にさらされ日増しに荒れ放題となり小動物の住処になります。また周辺の生活環境に悪影響を及ぼし景観上もよいとは言えませんので、早めに対策が必要であると思えます。

湯川村においては空家、空家等跡地の利活用の相談にも乗っていますので気軽に相談していただきたいと思います。



村内空家の状況を調査

湯川村議会の主な動き

- | | | |
|-------|-------------------------|-----------|
| 1月 7日 | 新春のつどい | |
| 8日 | 成人式 | |
| 9日 | 消防出初式 | 写真 |
| 13日 | 議会全員協議会 | |
| | 議会運営委員会 | |
| 14日 | 交通安全祈願祭 | |
| 17日 | 第550回湯川村議会臨時会 | |
| | 総務文教常任委員会 | |
| 18日 | 県町村議会議長会正副会長・理事・監事合同会議 | |
| 19日 | 広報広聴委員会 | |
| 21日 | 村老人クラブ連合会との意見交換会 | |
| 25日 | 例月出納検査 | |
| 2月 2日 | 両沼地方町村議会事務局長会議 | |
| 9日 | 両沼地方町村議会議長会正副会長会議 | |
| 10日 | 広域圏定例議会 | |
| 14日 | 議会全員協議会 | |
| 14日 | 総務文教常任委員会所管事務調査（社会教育事業） | |
| 16日 | 例月出納検査 | |
| | 両沼地方町村議会議長会令和3年度定期総会 | |
| 21日 | 広域圏定例議会 | |
| 22日 | 県町村議会広報広聴研修会（動画配信） | 写真 |
| 25日 | 経済常任委員会所管事務調査（空家状況調査） | |
| 3月 1日 | 議会運営委員会 | |
| | 議会全員協議会 | |
| 8日 | 第551回湯川村議会定例会招集日 | 写真 |
| 17日 | 第551回湯川村議会定例会最終日 | 写真 |
| 25日 | 令和3年度「会津を拓く講演会」 | |
| 27日 | 勝南区活性化対策委員会 黒堀・角屋お披露目会 | |
| 28日 | 教職員離任式 | |
| 4月 4日 | 教職員着任式 | |



消防出初式



オンライン研修の様子



東日本大震災黙祷 3月11日



県復帰の西東副村長へ花束贈呈

議会中継 録画配信のご案内

湯川村議会では、年4回（6・9・12・3月）の定例会で行われた一般質問の録画中継を公開しています。スマホやパソコンで見ることができますので、この機会にぜひご覧ください。

編集後記

新型コロナウイルス感染も中々終息が見えない中、明るいニュースとして選抜高校野球大会に21世紀枠で只見高校が選ばれました。会津勢としては63年ぶりとなります。惜しくも敗れはしたものの、高校生らしく元気がつらつと最後まで笑顔を保ち、プレーしたことは同じ会津人として健闘を讃えたいと思います。

また、大相撲春場所では福島市出身の若隆景が、本県出身力士としては50年ぶりに優勝を飾るなど、喜ばしいニュースが続きました。さて、令和4年度の一般会計予算、特別会計予算も数多くの議論の中、原案通り可決されました。

行政には、限られた財源で最大の効果を挙げ、村民目線で適正に予算執行にあたって頂きたいことを切に望むものであります。

（伊藤幸喜）

議会広報広聴委員会

廣 伊 小	三	篠	
川 藤 沢	委 澤	副 竹	委 員 長
文 幸 甲	員 榮		
夫 喜 市	三	弘	